

28

地 理 B

令和5年度入学試験問題

受験番号  
●●●●●

受験番号  
●●●●●

28

解 答 紙  
(4枚のうち1枚目)

[1] (50点)

[1] 問1～  
問2の採点

--	--

問 1

アメリカ合衆国北東部の大消費地と五大湖沿岸地方における鉄山と水運、付近に位置する炭田を背景として、ピッツバーグに鉄鋼業、デトロイトに自動車産業が立地するなど重工業地域を形成したが、1970年代以降は設備の老朽化、賃金の上昇、ヨーロッパや日本の製品の台頭などの影響を受け、工場の移転や閉鎖が続き衰退した。近年は各種の加工組み立て型工業やコンピュータ・電子機器生産などの先端技術産業へ産業構造が転換している。

(解答欄は200マス。句読点も1字として数える。英数字は2字で1マスを用いること。)

問 2

サードイタリーとよばれるこの地域では、地域社会に根ざした伝統工芸技術や中小企業のネットワークを利用し、市場の動向に柔軟に対応しながら、デザイン性を追求した高級な繊維・アパレル、皮革製品、宝飾品などの製品開発や多品種少量生産が進められている。

(解答欄は120マス。句読点も1字として数える。英数字は2字で1マスを用いること。)

29

地 理 B

令和5年度入学試験問題

受験番号				
●	●	●	●	●

受験番号				
●	●	●	●	●

# 解 答 紙

(4枚のうち2枚目)

29

(1)

(1)  
問3の採点

--	--

問3

多国籍企業の本社は先進国に置かれ、新技術や新製品の研究・開発部門が集積し、高付加価値な製品の製造などを行うが、発展途上国に置かれた子会社では、付加価値の低い部品の製造や組み立てを行う。企業の多国籍化は、発展途上国の工業化や雇用創出に貢献するが、管理中枢機能は先進国の本社に置かれ、途上国の子会社は意思決定権を持たなかったため、近年は子会社が自立して、固有の権限や機能を強める現地化が進行している。

(解答欄は200マス。句読点も1字として数える。英数字は2字で1マスを用いること。)

30

地 理 B

令和5年度入学試験問題

受験番号  
●●●●●●

受験番号  
●●●●●●

# 解答紙

(4枚のうち3枚目)

30

[2] (50点)

問1	A	キャッサバ	B	トウモロコシ	C	大豆
	D	サトウキビ	E	小麦		

[2] 問1～問2の採点

--	--

問2

アマゾン地域では、森林に火入れを行い、草木灰を利用することによってキャッサバなどのイモ類やバナナなどを栽培する移動式の焼畑農業が行われてきた。一方、アンデス山脈の低緯度地域では、標高が高くなるにつれ、気温が低下していくため、標高に応じてトウモロコシ、ジャガイモが栽培され、さらに標高が高く作物栽培ができない地域ではリヤマ、アルパカなどが放牧されてきた。

(解答欄は180マス。句読点も1字として数える。英数字は2字で1マスを用いること。)

31

地 理 B

令和5年度入学試験問題

受験番号				
●	●	●	●	●

受験番号				
●	●	●	●	●

# 解 答 紙

(4枚のうち4枚目)

31

[2]

[2] 問3～問4の採点

--	--

問 3

スペインやポルトガルから持ち込まれた制度で、大農園を所有する農場主は都市に居住し、多くの住み込みの小作人が農業に従事する。大土地所有制がラテンアメリカの農業や社会の基盤となったため、自分で土地を所有し農業経営にあたる中産階層が育成されず、農場主と小作人の経済格差が拡大した。現在でも不平等な土地所有制度が残存しており、貧富の差が大きな社会問題となっている。

(解答欄は180マス。句読点も1字として数える。英数字は2字で1マスを用いること。)

問 4

サトウキビやコーヒーのプランテーションや粗放的な牧牛が中心であったブラジルの農業は、日本のODAによるカンポ・セラードの耕地化や多国籍企業のアグリビジネスの進出により、資本投下や最新の農業技術の導入が進み、企業的な農業経営が行われるとともに輸出産業として成長を遂げた。また、大型農業機械の導入などにより職を失った小作人は、大都市へ移動してファベラと呼ばれるスラムを形成し社会問題となっている。

(解答欄は200マス。句読点も1字として数える。英数字は2字で1マスを用いること。)